

|  |                       |                       |                         |
|--|-----------------------|-----------------------|-------------------------|
| <b>授業科目</b><br><br>基礎看護学概論   | <b>区分・教育内容</b>        |                       |                         |
| <b>授業担当者</b><br><br>佐藤 聡美  | <b>開講時期</b><br><br>前期 | <b>単位</b><br><br>1 単位 | <b>時間数</b><br><br>30 時間 |
| <b>授業の目的</b><br>看護師を目指す者にとって基盤となる「看護とは何か」「看護が果たす役割はなにか」について学び、考えを深める。<br><b>授業の目標</b><br>1. 看護の概念・機能・役割がわかる。<br>2. 看護の対象である人間の行動様式や心理を理解し、生活者としての人間理解を深める。<br>3. 看護者としての倫理を理解する。   |                       |                       |                         |
| <b>授業概要</b><br>入学したての学生の看護に対するイメージは漠然としている。そこで、看護が実際にどのような役割、責任を担っているのかを理解し、これから看護学を学ぶものとして心構えを築く授業としたい。また、看護理論と実践の関係について学ぶことで、看護学の奥深さを感じてほしい。進行・内容はテキスト通りではないので、テキストは授業の補助として使用する。<br><br><b>授業計画(進め方)</b><br>1～2 回目 序章・1 章：看護の定義 看護の基準 看護の変遷 看護のあり方<br>課題レポートの提示「看護の基本となるもの」<br>3～5 回目 看護実践に生かす看護理論 19、5 章：看護理論<br>・ナイチンゲール・ヘンダーソン・オレム・ウィーデンバック 他<br>※5 回目終了後課題レポート提出<br>6～7 回目 2 章：看護の対象の理解<br>8 回目 ※課題レポートの修正と再提出<br>※筆記試験 25 分間 35 点<br>9 回目 3 章：健康と病気におけるウェルネス<br>10～11 回目 4 章：ライフサイクルと健康 国民の健康（国民生活基礎調査と患者調査）<br>12～13 回目 6 章：看護の倫理<br>14～15 回目 7 章：看護ケアの基本的役割・11 章：看護の継続性とこれからの課題<br>※筆記試験 25 分間 35 点<br><br>予定が変更される場合があるが、※印の変更は事前に連絡する。 |                       |                       |                         |
| <b>テキスト</b><br>ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版<br>ヴァージニア・ヘンダーソン著 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会<br>城ヶ端初子監修 看護実践に生かす看護理論 19 サイオ出版  |                       |                       |                         |
| <b>参考書・指定図書</b>  |                       |                       |                         |
| <b>評価の方法</b><br>筆記試験 70 点（35 点×2 回）と課題レポート 30 点の合計点で評価する   |                       |                       |                         |